



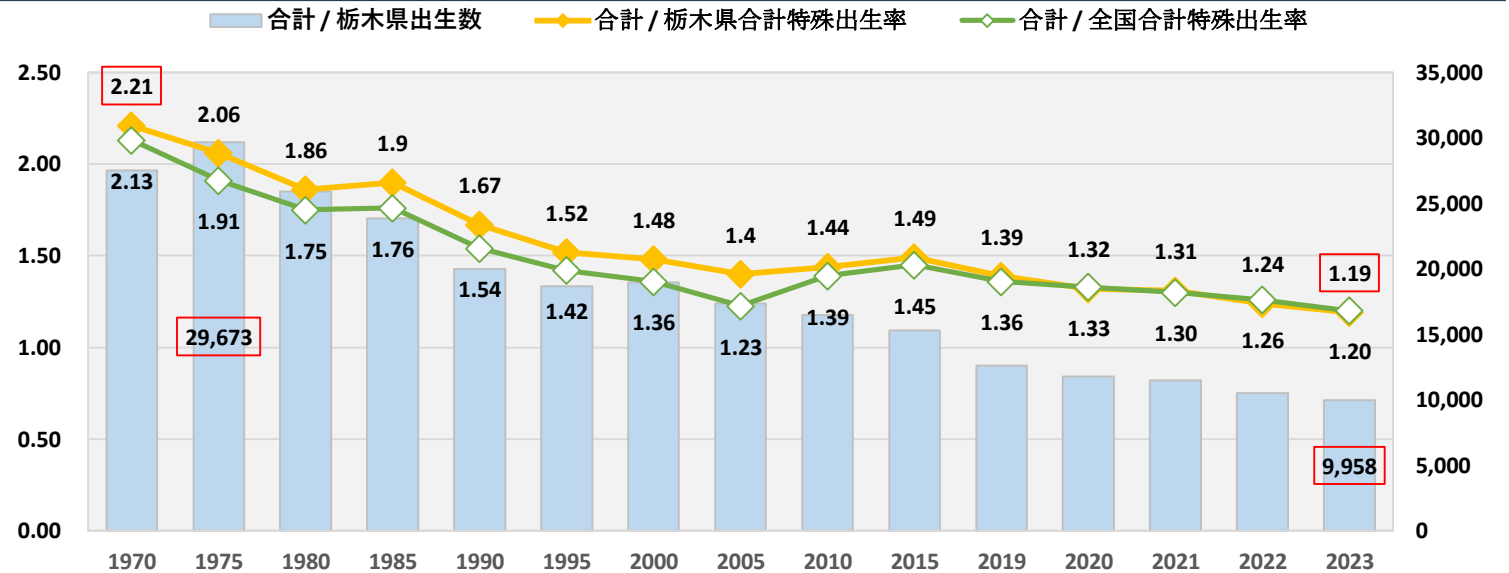
- ・ 本県の出生数はピーク時の3分の1程度となり、
合計特殊出生率は、全国平均を下回り、過去最低となっている。

栃木県の
出 生 数

9,958人

栃木県の
合計特殊出生率

1.19人



- ・ 少子化や核家族化、共働きなど子育て世代の取り巻く環境は大きく変化
- ・ 身近な人に相談できず、孤立化している親子も少なくない。

地域社会と連携した1人1人に寄り添った支援が必要！！

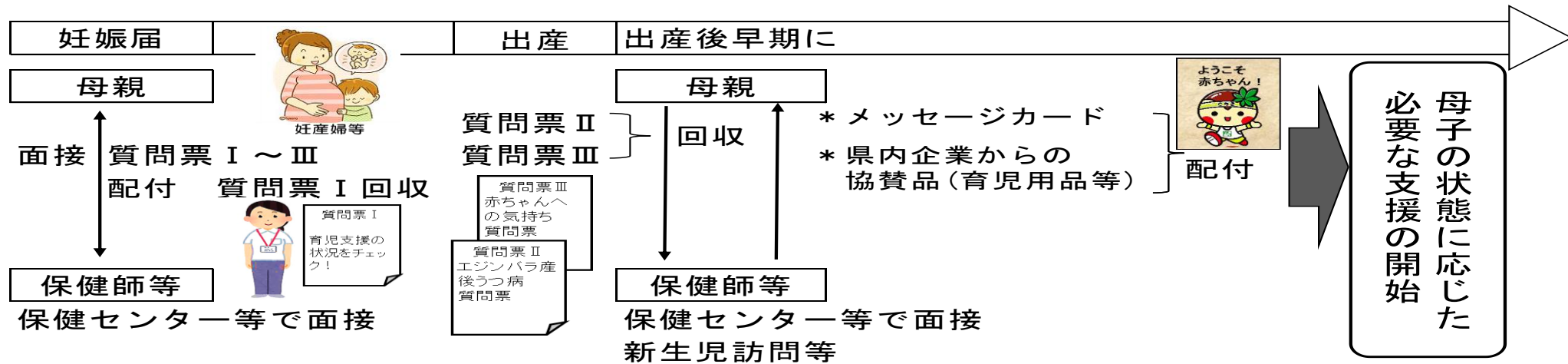


事業の
目的

～地域全体で子育てを応援されているということが実感できる社会の実現～

産後うつや虐待死の可能性が高まる産後間もない時期を重視し、**母子のニーズや状態に応じた切れ目のない支援**を、**市町や企業と連携**しながら実施する。

事業
内容



- ①妊娠届の際の面接等を活用し、母親の状況を把握すると同時に3つの質問票を配付し、質問票Ⅰを回収する。
- ②出生届の際に、母親が記入した質問票Ⅱ、Ⅲを市町へ提出する。
- ③質問票Ⅱ、Ⅲをもとに面接をし、**企業から提供された育児用品をバッグに詰め合わせた育児パッケージを進呈し、地域からのメッセージを伝える。**



3つの質問票について

質問票Ⅰ：育児支援チェックリスト

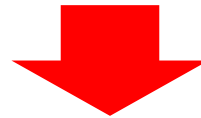
- ・育児を困難にする背景要因を総合的に評価するためにまとめた質問票。

質問票Ⅱ：エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）

- ・産後うつ病をスクリーニングするために英国で開発された質問票。

質問票Ⅲ：赤ちゃんへの気持ち質問票

- ・1歳未満の子どもを持つ母親が子どもへ抱く気持ち(愛着)について調査する簡便な質問票。



- ・3つの質問票を総合的に評価して、支援方法を検討。
- ・虐待予防活動の視点でも要支援者を検討。



県内企業からの協賛品（育児用品等）

花王（株）栃木工場
（栃木県市貝町）
からの紙おむつ



デザインを障害者福祉施設に依頼

JA共済連栃木
マタニティマーク反射材キーホルダー



アサヒグループ食品（株）栃木さくら工場
（栃木県さくら市）からの麦茶

障害者福祉施設で
作成したトートバッグ

障害者の工賃向
上に貢献

廃棄物減量に貢献

健診や予防接種の際だけでなく、普段の買い物でも使える
大きさとして、マイ・バッグ・キャンペーンと連携



事業ロゴも障害者福祉施設で作成



3 すべての人に
健康と福祉を

10 人や国の不平等
をなくそう

13 気候変動に
具体的な対策を



○協賛企業、県、市長会、町村会による4者連携協定締結状況

協定締結日	協賛企業	協賛品
H31（2019）.2.4	花王（株）	紙おむつ
H31（2019）.3.25	アサヒグループ食品（株）	乳児用麦茶
R 4（2022）.2.2	J A 共済連栃木	マタニティマーク反射材キーホルダー





当事業以外で
こんな企業連携
の取組も！

とちぎデジタルハブについて

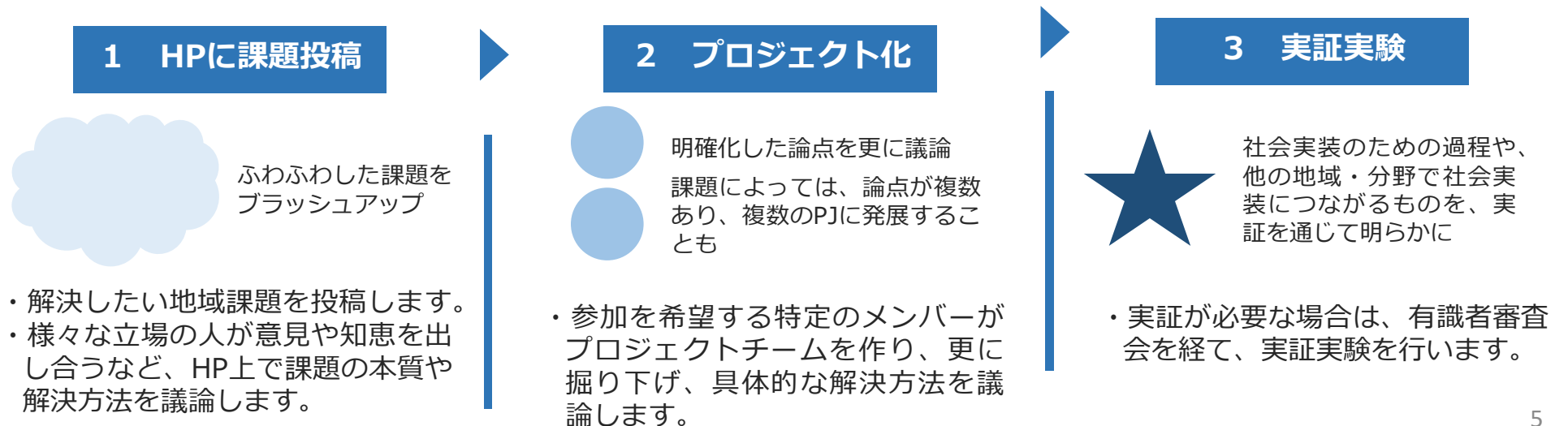
1. とちぎデジタルハブとは

地域の様々な課題と、デジタルによる解決手法を持つ個人や企業・団体の方とのマッチングを図り、実証実験なども取り入れながら課題を解決する仕組みです。

とちぎデジタルハブを通じて、地域課題の解決を加速させるとともに、新たな技術の開発やビジネスモデルの創出を目指します。



2. とちぎデジタルハブの議論の流れ





とちぎデジタルハブについて

当事業以外で
こんな企業連携
の取組も！

3. 具体的な取組事例

① 佐野らーめん店に訪れたお客様を市内周遊につなげたい

人気店に人が集中することで待ち時間が長くなってしまい、市内を周遊する時間を確保できない。

⇒混雑状況計測ツールにより、リアルタイムで混雑状況を可視化し、来店時間を分散

⇒マップ上に佐野らーめんの店舗と併せて周辺の観光地情報を可視化し、待ち時間を有効活用するためのきっかけを創出

② カワウの漁業被害を軽減したい

数億円規模の漁業被害を与えるカワウに対し、効果的な対策をしたい。

⇒カワウに取付可能なGPSロガーを開発し、カワウの生息状況等を把握することで、効果的な駆除対策を図る。

高校生の発案

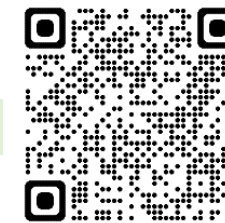
③ アイドルのライブを通じて観光PRをしたい

コンサートで訪れるたくさんの人に、地域のいいところを巡って欲しい。

⇒デジタルスタンプラリーで周遊を促すとともに、データを取得・分析することで効果的な地域振興につなげる。



会員登録はこちらから⇒



会員登録は簡単にできます。
個人、企業どちらでも登録可能です。
皆さま、ぜひ会員登録をお願いします。
(<https://www.tochigi-digitalhub.jp>)



得られる
成果等

<成果・解決される地域課題>

- 県や市町、企業が連携することで、地域社会全体で子育てを応援する機運の醸成！
- 応援メッセージ付きの育児パッケージを持参することで、家庭訪問実施率向上！
- 3つの質問票を使った面談で、出産・子育ての悩みをいち早くキャッチ！
- 同じロゴマークのトートバックを配付・使用してもらうことで、
支援対象者同士の連帯感向上！孤立化を防ぐ！！

寄附を
する
メリット
等

<企業のメリット/企業との連携イメージ>

全ての母親等への子育て応援をお待ちしております！

- ・ ご寄附いただいた企業名はもちろん、企業様の紹介動画を県で作成し、栃木県子育て支援ポータルサイトでご紹介いたします。
- ・ また、企業様のアイデアを活かした、新たな協賛品や子育て世代向けサービスなど、連携に向けたご提案も是非お寄せください。

<連絡先>

栃木県 保健福祉部こども政策課 担当：小野

TEL：028-623-3064 boshihoken@pref.tochigi.lg.jp

お気軽に御連絡ください！→

